

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101465
事業所名	グループホーム 楽楽苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	地域とは相互の交流がある。 利用者が地域の行事(花見、盆踊り、芋掘り体験等)に参加し、小学生の職場体験の受け入れやホームイベント(楽楽祭、認知症の勉強会等)への地域住民の招待を行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	奇数月の最終土曜日に運営推進会議を開いており、年間6回の開催である。 利用者や家族、地域包括支援センター職員、地域総代、同法人の他事業所管理者等がメンバーであり、その時々々の関心事(利用者の健康状態、熱中症、インフルエンザやノロウイルス等の感染症)について意見交換している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が毎回出席している。 会議の席上、「充実した支援を期待するが、職員の健康にも留意が必要」、「内部研修だけでなく、外部研修にも積極的な参加を」等、貴重なアドバイスをもらっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族のホーム訪問時はもちろんであるが、年に2回の家族会や運営推進会議、家族に参加を呼び掛けるホームイベント(運動会、楽楽祭等)への参加等の機会を利用し、職員は家族の意見や要望を聞き取っている。 その時々々のイベントによって数は違うが、運動会や楽楽祭には6～10組ほどの家族が参加している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎			